

一筆  
Ku

元国土交通省熊本河川  
国道事務所長



森田 康夫

2016年4月14日夜  
と16日未明に震度7を2回観測した熊本地震は、熊本（阿蘇の一帯）に甚大な被害をもたらしました。前震の被害は比較的軽微で、熊本河川国道事務所は益城町の国道443号復旧など被災自治体のサポートに当たっていましたが、その最中に本震を迎えるました。初めて体感した震度6強はまさ

16日未明の管内緊急点検で心配になつたのが、国道57号の大分方面から熊本（阿蘇の一帯）に甚大な被害をもたらしました。前震の被害は比較的軽微で、熊本河川国道事務所は益城町の国道443号復旧など被災自治体のサポートに当たっていましたが、その最中に本震を迎えるました。

ささらに送られてきた航空画像では、接続する阿蘇大橋も消えていました。これまで見たことのない、しかし紛れもない現実の光景に、がくぜんとしました。国道57号の被害はあまりにも大きく、直ちに復旧することは不可能と判断。大津町から二重峠を越えて阿蘇に入る「ミルクロード」を広域迂回路とし、緊急に損壊箇所を補修して通行を可能にする「啓開」を急ぎました。18日昼には通行可能な状況にまで復旧させました。

一方、国道3号を中心とする道路や橋梁も被災が大きく、九州自動車道も通行不能になってしまいました。九州の縦軸が止まるることは許されません。こちらの啓開も事務所の総力を挙げ、最優先で取り組みました。被災した職員も、みんな使命感を持つて職務に励んでくれました。いま思ひ返せば感謝しかありません。私の生活も激変し、その日から半年間、休日を返上することになりました。

## あの日の光景

熊本地震